

# 決 議

町村は、文化・伝統の継承はもとより、食料の供給、水源かん養、自然環境の保全等、国民生活にとって極めて重要な役割を果たしてきており、今後もこうした役割を担っていかねばならない使命を持っている。

しかし、町村は、急速な少子高齢化や人口減少、基幹産業である農林業の衰退など多くの課題を抱えており、税源に乏しく厳しい財政運営を余儀なくされている。

コロナ禍で大きく落ち込み毀損した地域社会の様々な「マイナス」を一日も早く回復させるとともに、「安全・安心な地域社会」を再構築するため、重要課題の解決に新型コロナウイルス感染症から学んだ経験と知恵を活かさなくてはならない。

アフターコロナ社会を見据えるとき、町村の持続可能性の追求が、大都市のバックアップ機能の強化につながり、これからの国づくりに大きく貢献するものとする。

我々町村長は、直面する困難な課題に積極果敢に取り組み、地域特性や資源を活用した施策を展開し、豊かな住民生活と個性溢れる多様な地域づくりに邁進する決意である。

よって、ここに総意を結集し下記事項の実現を期する。

## 記

1. 地域からの活力ある国づくりに向けた地方創生の更なる推進
1. 町村財政基盤の確立
1. 防災・減災対策の充実強化
1. 少子化対策の推進
1. 医療保険制度の安定的運営
1. 東海環状自動車道の早期完成、東海北陸自動車道の4車線化の促進及び濃飛横断自動車道の事業推進
1. 道路網の整備促進及び維持管理財源の確保
1. 亜炭鉱廃坑対策の拡充
1. 新丸山ダム建設事業の促進

以上決議する。

令和4年10月12日

岐阜県町村会定期総会